

会議顛末書（要旨）

							記録者	中嶋 真史						
供覧	会長		部長		次長		課長		補佐		GL		G員	
件名		令和5年度龍ヶ崎市地域公共交通協議会（第2回）												
年月日		令和5年6月26日（月）												
時間		午後3時00分から午後4時30分												
場所		龍ヶ崎市役所附属棟1階 第1会議室												
出席者		<p>【出席】18人（随行1名） 板谷会長、國下委員、寺田委員（代理：長谷川氏）、野島委員（代理：大山氏）、直井委員、澤島委員、池田委員、北村委員（代理：鈴木氏）、武藤委員（代理：白鳥氏）、中島委員、野澤委員、小菅委員、上野委員、小幡委員、吉野委員、落合委員、佐藤(昌)委員、佐藤(真)委員</p> <p>【欠席】0人</p> <p>【事務局】 都市整備部 橘原次長、都市計画課 仲村課長、北島課長補佐、蛭原主幹、記録者</p> <p>【傍聴】1人</p>												
会議内容 【会議次第】		<p>1. 開会 2. 議事 3. その他 4. 閉会</p>												
内容 (主な意見)		<p>※ 別添資料に基づき本協議会を開催した。</p> <p>【事務局】 1 開会 ○会議資料等の確認 ○会議の進行については、会長が行う。 ○定数の過半数出席により、本会議が成立した旨を報告。（龍ヶ崎市地域公共交通協議会条例第6条第2項） ○本日の議事録署名人は、龍ヶ崎警察署の直井委員とNPO法人ユーアンドアイの佐藤(真)委員を指名。</p>												

2 議事

議事(1) 龍ヶ崎市地域公共交通網形成計画の事業評価について

【事務局】

○資料に基づき説明。

【板谷会長】

ただいまの説明につきましてご質問等があれば、挙手の上ご発言ください。

【佐藤(昌)委員】

先程基本方針の1で利用者数というのが出てきたと思いますが、令和5年度の数字はどうでしょうか。増えているとか、数字が出ていなければ感覚でも良いので教えてください。

【事務局】

コミュニティバスについては現時点で今年の4月、5月よりも多くなっています。その他、路線バスについては、関東鉄道さんはいかがですか。

【武藤委員代理：白鳥氏】

路線バスにつきましても、4月、5月につきましては上回っている状況でございますが、コロナ前の2019年と比べますと1割減位と感じております。

【板谷会長】

他にご質問はありますか。

【上野委員】

別紙2の5-2について質問ですが、評価について×で未完了・未実施ということで評価されているかと思うのですが、バスターミナルの設置の検討というところで、今の状況、今後の方向性を教えていただければと思います。

【事務局】

現時点で新都市拠点開通エリアの開発の状況としては、特に進捗なしと伺っていますので、付随しますバスターミナルの設置についても特段の計画はなしとなっています。

【上野委員】

ありがとうございます。

【板谷会長】

私からは全体として評価の内容に関するコメントをしたいと思えます。できていないところはできていないと率直に書いていただくこと

は評価の大事なところだと思っておりますし、例えば道の駅に関してはできないでやむを得ないと思っておりますし、駐輪場につきましても龍ヶ崎市駅については既に十分に開発しているところで、竜ヶ崎駅については若干改良の余地があるかなと思っておりますが、今後改めて検討していくということにすれば良いかと。要は評価をきちんとして上で今後改善できる部分をさらに改善していくという形で作っていくということで考えますと、新型コロナウイルス感染症の影響もあって数字的にはもう少し頑張れるかなという所ではありますが、十分な評価ができてるように私は思っています。

ただ、改めて数字を地域公共交通計画で確認しようと思ひ、オンラインで見ようとしたら、まだ公開されていないですかね。公共交通協議会の記録等も確認しようとして、これも掲載されていない。どのようにWeb公開を進められているか教えていただければと思います。

【事務局】

交通計画に関してはパブリックコメントで結果の中に合わせて掲載させていただいておりますし、そちらからご覧いただくようになっております。

【板谷会長】

ありがとうございます。会議記録に関しては昨年度のものが更新されていないですが、それについてはいかがでしょうか。

【事務局】

まだ準備できていないので、早急に進めさせていただきます。ご指摘ありがとうございます。

【板谷会長】

議事録等については遅れてもいいのできちんと公開して市民の皆様にご覧いただけるようにしていただくよう、よろしく願いいたします。

他にご意見がないようであれば、議事(1)につきましては、資料のとおり承認としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【板谷会長】

異議なしとのことですので、協議事項(1)につきましては、資料のとおり承認いたします。

議事(2) 龍ヶ崎市乗合タクシー「龍タク」の運行計画について

【事務局】

○資料に基づき説明

【板谷会長】

ただいまの説明につきましてご質問等があれば、挙手の上ご発言ください。

【吉野委員】

乗合タクシーの目標値として、2人以上の乗合率を30%にすることが挙がっています。高齢化に伴いまして、ご夫婦どちらかが1人で病院にいけないという場合、もう一方が付き添うケースが多いのですが、それも2人以上の乗合率に含まれていますか。

【事務局】

ご夫婦で乗られた場合にも、2人以上の乗合率としてカウントしています。

【吉野委員】

周りを見ておりますと、特にそういうケースが増えていまして、ご負担が増えていきます。1つの世帯にとってみますと、1人の方が病院に行くのに倍の料金になるので、そのあたり何か軽減策があればなど思いました。

【事務局】

今おっしゃられた通り、例えば病院に行くにあたって1人では行けない、介護のために乗った場合でも料金はそれぞれ基本料金500円を頂いています。財政的な負担もありますので、そういったご要望ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきたいと思えます。

【國下委員】

まず本年度、補助金の申請様式の送付が遅くなりご迷惑をおかけしました。先程おっしゃられたように6月30日の期日までにいただければと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

また、本補助金に関して取り決めに扱う「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の法改正が国会の審議を経まして秋ごろに施行の予定となっております。その中でまた新たな補助要件・支援制度が創設されます。「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金（以下、フィーダー補助）」と同じ「地域公共交通確保維持改善事業」に「エリア一括協定運行事業」、「社会資本整備総合交付金」に「地域公共交通再構築事業」が創設されました。詳細が決まりましたらお知らせしますので、ご活用の方をご検討いただければと考えております。

【板谷会長】

その他いかがでしょうか。

では私から一点、フィーダー補助を受けて運行しているということ

で、改めて補助金を受け取る際のルール、どのような形で国から補助金を受け取っているかということや、例年どのぐらいの金額が実際に交付されているかということについて追加の説明を頂ければと思います。

【事務局】

今回お話ししているのが、今後どのような形で乗合タクシーを運行していくか、という計画になります。令和6年度の計画に基づいてご説明しますと、本年10月から計画期間が始まりまして、計画期間終了の9月末まで、計画通り乗合タクシーを運行していく形になります。そうしますと、令和5年10月から令和6年9月までの実績が出ますので、それを令和6年11月頃から実績をまとめて国に報告し、その数字を元に、令和6年度末頃に国から補助金が交付されるという流れになっております。

年度の表記につきましては、市の運用上ですと、4月から3月までを年度の単位としていますが、国の運用では10月から9月と、時期がずれております。ですので、本年度市が交付を受ける補助金につきましては、昨年ご審議いただきました令和5年度計画の実績に基づいて交付が行われます。

また、例年の補助金の額ですが、実績やサービスを提供した時間等を元に算出する形となっております。実際の交付額につきましては、令和2年度運行経費7,997,960円のうち国の補助金を受けているのが1,890,000円。令和3年度運行経費9,241,990円のうち国の補助金1,792,000円。令和4年度運行経費9,408,480円のうち国の補助金1,968,000円です。

【板谷会長】

私の理解では経費が全体としてあって、そのうちいくらかはそれぞれ利用者の方に負担していただける収益。収益で足りない部分は欠損。この欠損のうちの最大半分を国から補助していただける。そういう制度であると私は認識しているのですが、よろしいですか。

【事務局】

国からの補助額の半分というのが、実績を基に変わってきます。

【板谷会長】

全体として800万～1,000万かかっている内、トータル200万弱ぐらいですかね、小さくない額かと思いますが国に支援していただいて、運行を継続できているということで、次の期間もぜひ支援を継続していただきたいということで、こういう計画を作って国に提出して、今後認められれば実際支援していただける。

先程の國下委員の説明でもありましたように、追加で別の制度が創設される見込みとなっておりますので、活用できるようであれば今後活用を検討していくことかと思いますが、今回は昨年度までと同様に事

業を継続したいということで、内容に問題がないか皆さんに審議していただいているところです。細かい部分は昨年度と同様の部分が多くなっていますが、もし不明点などありましたらご質問等いただければと思います。

主旨には問題ありませんので、引き続き継続していただければという方が多いかと思いますが、特に問題がないようでしたら議事(2)についても、原案どおり承認いただくということでいかがでしょうか。

(異議なしの声)

【板谷会長】

異議なしとのことですので、議事(2)については、資料のとおり承認といたします。

議事(3) 龍ヶ崎市コミュニティバスの再編について

【事務局】

○資料に基づき説明

【板谷会長】

ただいまの説明につきましてご質問等があれば、挙手の上ご発言ください。

【池田委員】

質問でも意見でもないのですが、働く者の現状として、資料の2ページに人件費の増加という文言も入っているのですが、私たち交通産業で働く乗務員は本当に低い賃金で、一般の労働者より2割長く働きながらも2割低い賃金とされています。コロナ禍での利用者の減少もありまして、本当に収入も減り、乗務員も少なくなっています。そこに2024年の改善基準告示に対応するため、トラック業界などと乗務員の取り合いになってしまっています。バス・タクシー業界は人手不足だにご理解いただければと思います。

【板谷会長】

貴重なご意見ありがとうございます。

来年度以降、運転士不足が顕在化するということが分かっている状態ですので、対策をしていただきたいと思うとともに、ここで話す内容ではないのですが、今回働き方を改善すると運転士が足りなくなるということは、今の働き方自体が運転士にかなり負担が大きいということの意味しています。例えば給与の補償等について、国からなんらかの支援があっても良いのではないかと私は思っていますが、あるいは一定の給与水準を補償するとかそういうのがあるべきかと。ただ実態としてなかなかそうはいかないという、残念なことではあるのですが、それを前提として考えていかざるを得ないと思います。ご意見いただきありがとうございます。

今回議題として皆様に審議していただきたい内容を整理しますと、令和7年度、再来年度の4月からコミュニティバスを再編して運行したいという意向のようです。そのために令和6年度の間新たなコミュニティバスのネットワークについて検討し決定したい。そういうスケジュールで進めたいが、一方でこの後に議論するAIオンデマンド交通実証実験の結果を踏まえて、より効率的かつ住民の皆様が利用しやすいネットワークを作りたいのですぐに動かず準備をしていく、こういう趣旨かと思っております。

その中でシャトルバスについては来年8月31日で運行を終了し、これをうまく既存のネットワークでやりくりして置き換えながらやっていきたい、この3点についてご承認いただきたい、というのが主旨だったかと思えます。

利用状況は昨年度非常に多かったということで、再編前よりも増えていますので、本来これぐらいになっていなければいけないところ、新型コロナウイルスで減った利用者が戻ってきた、こういうところだと思います。スケジュールに関わることを含めて、ご意見等いただければと思います。

【事務局】

令和4年度のコミュニティバスの乗車人員については、参考資料1でそれぞれの路線の状況が確認できますのでご覧いただければと思います。便あたりの人数に関しましては、路線ごとに便数の違いもありますので、基本的には1日あたりの乗車人数をご覧いただくのがよろしいのかと思えます。

【板谷会長】

参考資料1もご覧いただきますと、ルートによってかなり利用者数に差があり、便によってはかなり混雑する一方で、一日中ずっと乗らないルートもあります。これを再編したいということですので、皆様にとって不便になるということではなくて、より実態に即したルートをご提案していただき、我々が議論していくということかなと思えます。

無理のないスケジュールかなと思っております。1年をかけて必要なデータを準備していくとのことでございますので、まったく問題ないということでしたらこのまま承認ということでいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

【板谷会長】

異議なしとのことですので、議事(3)については、資料のとおり承認いたします。

議事(4) AIオンデマンド交通実証実験について

【事務局】

○資料に基づき説明

【板谷会長】

ただいまの説明につきましてご質問等があれば、挙手の上ご発言ください。

【上野委員】

新たなA I オンデマンド交通実証実験の結果を踏まえて、コミュニティバスを見直しするという事で、私の中でA I オンデマンド交通の実証実験は非常に重要な手続きだと思えます。今後実際利用される方に対して説明会を実施する流れになっていると思えますが、利用される方に丁寧に説明を行わないと、なかなか本当にあるべき姿が見えないかなと思えますので、どのように進めようとされているのか教えてください。

【事務局】

詳細な内容についてはこれから詰めていくようになりますが、事務局としましては、地域の皆様にきちんと説明を行っていくということで、地域コミュニティに対して説明を行っていきたいと考えています。そのほか、現在調整中ではありますが、各地域の民生委員の方にもご説明させていただいて、民生委員の方に地域の相談役となってもらえるよう、操作説明等を行っていく予定となっています。

また、今回乗降ポイントとしまして、色々な施設の方にご協力いただくようになっておまして、そういった施設においても可能な限り説明を行うとともに、利用案内を置かせていただき情報発信を行っていきたいと考えています。

【上野委員】

利用される地域の方に細かく説明を行うのが一番いいと思えますので、地元の自治会とか長寿会とかそういう組織もあるので、そういうところも巻き込んでPRされるとより良いのかなと思えます。よろしくお願ひいたします。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。PRが重要ということは事務局でも重々認識しております。昨年来委員の皆様は公共交通計画の作成に携わっていただいて、データを色々お示ししてはいますが、公共交通を利用している人は市民の10~12%しかいない。逆に言えばその方たちにとっては重要なインフラであると思っております。その中で効果的にPRしていくにはどうすれば良いのかを事務局でも考えています。ただ単に地域に出向き、乗らない人に説明しても無駄になってしまう。本当に必要な人に乗ってもらいたいという意向がありまして、メインのターゲットは高齢者になってくると考えています。

少し前になりますが、長寿大学に出向き、A I オンデマンド交通に関しても講演させていただいています。このほか、民生委員さんに直接お話しさせていただいて、できれば今度は少人数で本当に必要な方にターゲットを絞ってできないかと考えています。あとひとつ具体的には、乗降ポイントで重要なところは、商業に金融、医療となってくるかと思しますので、済生会病院ともお話しさせていただいて、使い方の案内を貼って周知してもらうなど、周知の方法なども具体的に考えていきたいなと思っていますので、委員の皆さんの中でも、もっとこうした方が良いのではないかという意見がありましたら随時お話しいただければ助かりますので、引き続きよろしくお願いたします。

【板谷会長】

ありがとうございました。地元の皆さんに広くご理解いただくことがとても重要ということで、事務局にも汗をかいていただいているのご説明があり大変ありがたいと思っております。バス・タクシーは、どのようなサービスかすぐに分かりますが、A I オンデマンド交通と言ってすぐに分かる人はいません。それを皆さんに、そうかこういうものなのか、と分かっていただいて、実際多くの方に実証実験期間中にご利用いただけるようにしていくと評価も定まってきますし、良くないところは改善できるかなと思っておりますので、引き続き様々なところでご協力をいただきながら、必要に応じて対面での説明会も実施していただきますようお願いいたします。

【野澤委員】

A I オンデマンド交通実証実験については、車両台数2台としかないので、具体的にはどのような形で今後進めていくのかを教えてください。

【事務局】

乗降ポイントの一覧をご覧くださいますと、かなり細かいところまで入っていく想定で乗降ポイントを設定しているところがございますので、セダンサイズの車両を用いて実証実験を行うというのを想定しているところです。今回協議会の方でご承認いただきましたら、運行の料金なども固まってまいりますので、これをもちまして運行業者の選定に入っていきたいと考えています。

【野澤委員】

どのように事業者を選定するするのかを聞いておきたいと思いません。

【事務局】

事業者の選定は基本的に入札を想定しております。市の入札参加資格者名簿の中から運行が可能な事業者すべてに声をかけさせていただ

いて、金額を最も低く入れてくださったところをお願いする、という流れになるかと思います。

今回の運行の形態ですと、会社として道路運送法4条の免許を持っていること、というのが1つの条件に入ってくるかと思いますが、条件を満たす事業者に声をかけさせていただく予定でございます。

【板谷会長】

どこかを排除するということは全くなく、純粹に競争で決まるということですか。

【野澤委員】

運行はあくまでも入札という形で、それに対する金額の想定はこれから考えるということですか。

【事務局】

そうです。基本的に当市は今、適正な契約の実施をという考え方があります。

【野澤委員】

AIのシステム事業者も同様に選定するのでしょうか。

【事務局】

今回の場合ですと、システム事業者と交通事業者をお願いするのは完全に別とお考えください。システム事業者に関してはプロポーザルで選定し契約します。交通事業者に関しては、完全に別で入札等を行って相応しい業者を選定していく予定です。

【板谷会長】

今までのタクシー会社のシステムとは違うものを使って、かつ車両を限定して実験的にタクシーのサービスとも違うものをまずやってみましょう。やってみないと良し悪しがわからないので、それでどのような影響があるのかも含めて実験をするという趣旨です。このような運行形態で運行していただける交通事業者さんをこれから選定していくということですか。

【野澤委員】

乗合の場合は各タクシー会社に電話があって配車しているのですが。

【板谷会長】

他の地域では既に実績がそれなりにありますが、地域によってうまく馴染むかどうか分からないので、まず新しい配車の仕方をやってみようということかと思いますが、それで良くないとか、止めることも想定に入っていると思いますが、良い悪いをきちんと立証したいという

ことなので、入札でやるというのはある意味、事前に本当に何もない状態で入札していただいて一番安かったところに入っていただくという事です。

それは実験の後、実際に本運行するとなった場合にはまた改めて入札をするという期間限定で、3年とか5年経った場合には、またという形を想定されている。そういうことだと思います。

事業者さんにも重要な話なので、別の機会にご説明等いただいた方がいいかもしれません。こういう回答の場ではどちらかというと、こういうやり方で進めていきます、スケジュール等そのあたりをご確認いただくことでやっていて、当然重要なことですので、誤解なく進めていきたいと思っております。

その他いかがでしょうか。

【小幡委員】

少し気になっているのは、新型コロナウイルス感染症です。バス会社もタクシー会社も成果が上がってきたところ、またという感じです。それと同時に地域によって利便性の良いところと悪いところの不公平感が大きいとそういうことも考えるし、やはり地元のタクシー会社、バス会社を守っていかなければ困るわけです。先程の賃金が下がっているとか、それを救うためにどうするのか、というのもアイデアとして出していないと意味がないのではないかと思います。取手市もそうなのですが、東側のある一定の地域がどんどん良くなって、というのを、龍ケ崎市は無くして欲しいなと思います。バス会社、タクシー会社、我々利用する市民はやはり共存共栄です。そういう観点から見えていかないと、龍ケ崎がますます沈没してしまうのではないかなと思います。政府が言っているのですが、新型コロナウイルス感染症は9波に入る。そうしたらバスだってどんどん少なくなってきました。今度はある程度今のような状態に戻った時に、今度は利用するバス会社やタクシー会社がいなくなってしまうので、その辺りを含めた協議にしていっていただきたいなと思います。要望です。

【板谷会長】

貴重なご意見ありがとうございます。その辺りは市としても十分に配慮したうえで進めていただいていると思います。

【事務局】

その辺は配慮していきたいと思えます。

【板谷会長】

まったくおっしゃる通りでございます。共存共栄でございます。これまでの地域に対する貢献を考えたら、突然違うものを入れて混乱させたりそういったことは好ましくないもので、皆様が全体として過ごしやすい生活しやすい状況を実現していかれるように引き続きよろしくお願ひいたします。

その他いかがでしょうか。原案通り承認ということでよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【板谷会長】

異議なしとのことですので、議事(4)については、資料のとおり承認といたします。

議事(5) ウェルカムチケット事業について

【事務局】

○資料に基づき説明

【吉野委員】

先程のご発言で少し疑問に感じたのですが、バス事業者と市がもっと密着して進めるようなご発言がありましたが、このような会議の場でこのような発言が許されてよろしいのでしょうか。

【板谷会長】

それが問題であるということだと、交通関係の事業者さんの関係というのは必ずしも競争関係で成り立っているわけではなくて、かつて特にそうだったのですが、エリアを分けてそれぞれの事業者にエリアを任せて運行していただくという実態がありました。今はそういうことがないので、やろうと思えば市役所でなんとでもできるという状況になっています。その中で、事業者の努力と関係のないところで、事業環境が全く違うような状況になってしまうのが好ましくない、というような意味での発言だったと理解してしまして、要するにそういうことにならないようにこれまでと同様の環境の中でやっていっていただきたいと言っているのでありまして、それは必ずしも癒着とか既存の事業者に対してこれまで通りにするようには便宜を図るとか、そういうこととは違うと私は思っていたのですが、もしそういう解釈をされたとすると他にもいらっしゃるかもしれないので確認したいと思うのですが、そのあたりいかがですか。

【吉野委員】

市役所の競争入札に対して、発言されたと思います。競争入札に対する発言と私は理解したのですが、これだと完全に問題だと思いませんか。

【板谷会長】

入札に対してだと問題ですが、そういう趣旨でしたか。
入札は入札でしっかりやっていただかないといけません。

【吉野委員】

発言した方は入札に対しての発言と私は受け取ったのですが。

【板谷会長】

私はそうは受け取らなかったし、今確認しましたらそういうことではないとのことですので、ただ懸念があったとすると、議事録等で公開した際に誤解されそうな気がしますので、事務局から何かありますか。

【事務局】

先程のご意見に関しましては、市が行う事業で、交通事業者の皆さんの利用者を大きく取ってしまうとか、そういった事業にならないように十分配慮したうえで、AIオンデマンド交通の実証実験も行っていただきたい、というようなご発言だったと認識しているのですが、そういったことでよろしいですか。

【吉野委員】

分かりました。ありがとうございました。

【板谷会長】

ご検討いただきましてありがとうございました。こちらも発言に気を付けて誤解のないように進めていきたいと思えます。公明正大に事業者選定をしていただきたいので、改めてよろしくお願ひしたいと思ひます。

【上野委員】

令和5年10月1日以降継続して実施するというこゝで、期限等決められていることはあるのでしょうか。

【事務局】

今のところは、事業開始の予定が令和5年10月1日からということで今年度いっぱいに行いますが、事業を担当しているまちの魅力創造課の人口問題対策室からは来年以降も継続してこの事業はやっていく予定だと聞いております。今回適用する期間としましても、10月1日からと、終わりの期間は定めなくて事業の届出を行っていきたくて考えております。

【小幡委員】

ウェルカムチケットというネーミングをもう少しお年寄りにも分かるような名称にしてはどうですか。

【板谷会長】

ネーミングにももう少し分かりやすさをということですが、いかがでしょうか。

【事務局】

検討を重ねた結果ウェルカムチケットという名称となっていますが、交通協議会の中で委員さんからそのような意見が出たという事でお伝えさせていただきます。

【板谷会長】

ご意見も出していただいて、より分かりやすくなればそれはそれでいいと思います。もしかするとそのままかもしれません。そちらはご了承いただきたいと思います。

私から一点だけ。主旨は賛成です。どんどんやっていただきたいと思います。ウェルカムチケット交付事業全体としては今年度限りなのか、来年度以降どうするのか等、方針がもしある程度でも決まっていたら教えてください。

【事務局】

ウェルカムチケットは来年以降も継続していきたい、と担当課から聞いております。また、チケットにどのような割引券を入れるかというの、色々と調整して増やせるところは増やしたいとの担当課の考えもありますので、コミュニティバスと乗合タクシーについては継続するほか、他の施設の割引券については内容が変わることはあるかもしれませんが、この事業自体につきましては継続すると聞いております。

【板谷会長】

ありがとうございます。私自身が何度も引っ越しをしてきた経験からそういうものがあると市のサービスを積極的に使おうというハードルが少し低くなるので、非常に転入者にとってはありがたいサービスだと思います。継続されると市のイメージも相当変わると思うのでぜひ継続いただきたいと思います。

その他いかがでしょうか。原案通り承認ということでよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【板谷会長】

異議なしとのことですので、議事(5)については、資料のとおり承認いたします。

議事(6) 関東鉄道竜ヶ崎線生活交通改善事業計画等の変更について

【事務局】

詳細につきましては関東鉄道株式会社の鈴木様お願いいたします。

【北村委員代理：鈴木氏】

○資料に基づき説明

【板谷会長】

ただいまの説明につきましてご質問等があれば、挙手の上ご発言ください。

(異議なしの声)

【板谷会長】

異議なしとのことですので、議事(6)については、資料のとおり承認といたします。

本日の協議事項は以上となります。本日の意見等を踏まえながら、事業を進めていきたいと思っておりますので、委員の皆様におかれましても、引き続きご協力をお願い申し上げます。

最後に、その他の事項となります。事務局より何かありますか。

4 その他

○長寿大学での公共交通に関する講義について

【板谷会長】

このほか、委員の皆様から何かございますか。

他に無いようであれば、以上を持ちまして本日の会議を閉会とさせていただきます。

長時間にわたるご審議、ありがとうございました。

令和5年 月 日 議事録署名人

令和5年 月 日 議事録署名人